

校訓	自分を育て 自分を生かし 社会を明るく	令和6年度学校だより 「天の子」 第13号	発行日	令和7年1月7日
教育目標	夢と誇りのある生徒の育成 ～主体的に学び、考え、行動する力と、豊かな心を育む～		発行者	伊丹市立天王寺川中学校 校長 永 嶺 香 織



3学期始業式講話

明けましておめでとうございます。令和7年がスタートしました。

始業式にあたり、3つお話をします。

1つめは今年一年の目標についてです。2025年の干支は、へびを表す「巳」。へびというとその姿を思い出してぎょっとする人も少なくないでしょうが、実は、蛇は脱皮を繰り返すことから、新たなスタートや再生の象徴とされています。2025年は、新たな目標を立て、取り組んでいくことに適した年になります。また、蛇は姿を変えることができることから、予期しない変化に柔軟に対応して乗り越えることができる年になるそうです。そして、蛇は知恵と洞察力の象徴です。慎重に物事を進める年とされています。こんな特徴の巳年です。目標を持って、変化に恐れることなく何事にもチャレンジする年にしていきましょう。

2つめは3学期をどう過ごすかということについてです。

3学期は1年生にとっては2年生の0学期、2年生にとっては3年生の0学期と言われます。次の学年に進むための大切な準備期間です。そして3年生にとっては、新しいステージに進むための準備期間であり、義務教育まとめの学期でもあります。



校内では葉をすべて落として丸裸になった木々が目立ちます。ちょっと寂しげな姿です。でも、その木をよく見ると枝から芽が出ています。これから続く厳しい寒さにじっと耐えて春に花を咲かせるために、着実に準備をしています。みなさんも、春を迎える時の自分を想像して、自分自身を成長させる3学期を送ってほしいと思います。

3つめは、2学期の終業式でお願いしたことについてです。2学期、みなさんが主体性を持って学校生活を送り、取り組んでくれたおかげで、天中が生徒主体の学校に変わろうとしているとお話しました。でも、気になること、もっと頑張りたいこともお話しました。自分からあいさつができない人が増えたこと、学習に集中できていない人がいること、登下校や放課後に地域の方にご迷惑をお



かけし、苦情が寄せられたことです。3学期スタートにあたり、今一度、物事の善悪をしっかりと判断し、当たり前のことをきちんとできること、そして、今年度のまとめの学期をどう過ごすかをしっかり考えて過ごしましょう。